

地球環境子ども村だより

No.48

令和2年10月2日(金) 発行



秋が駆け足でやって来ました。みな様いかがお過ごしでしょうか？半年ぶりの子ども村便りです。

新型コロナウイルスの影響で、子ども村の事業も7月まではすべて中止、亀岡生き物大学も今年は開かれませんでした。やっと落ち着いてきた8月より、特別講座を単体で開講することが出来ました。現在、コロナウイルス感染予防の対策を取り、少人数で開催しております。現在も流行が続き、亡くなる方も増えています。お悔やみを申し上げるとともに、全世界に広がったコロナウイルスの大流行が早く収束しますよう、願ってやみません。

◎これまでの行事報告 (8月)

亀岡生き物大学 特別講座 「昆虫教室」

令和2年8月1日(土) 午前10時～正午 参加者：20名

講師：仲田 丞治氏 (NPO法人亀岡人と自然のネットワーク)

今年度初の生き物大学特別講座が開催されました！みんな大好きなカブトムシ、クワガタなどに触れられる良い機会と親子でワクワクしている様子に見えます。昆虫はかせの仲田さんの昆虫クイズで始まりました。子どもたちは全員張り切って手を挙げてくれました。

後半は野鳥の森にて、京都先端科学大学「生き物ふれあい隊」のみなさまのご協力で昆虫観察を行いました。三日前に職員で仕掛けた8か所のトラップにちゃんと昆虫がいるのか、ハラハラしていましたが3か所でクワガタが数匹観察でき一安心しました。最後に、プレゼントされた昆虫を持つ子どもさんたちのニコニコの笑顔がマスク越しでもわかり、夏の良い思い出になってくれたかなと思います。

トラップに
注目！



亀岡生き物大学 特別講座 「望遠鏡を作ろう！」

8月4日(火) 午前10時～正午 参加者：10名

講師：植木 永子 環境学習指導員

コロナウイルスの影響によって規模を縮小しての開催となりました。まず始めに、講師の植木による望遠鏡の歴史や望遠鏡の仕組みについての講義です。どうして望遠鏡は大きく見えるの？誰が作ったの？というお話を通して子ども達に学んでいただきました。次は望遠鏡の作成です。親子で協力しながら、カッターで牛乳パックを切ったり、ペンチでルーペの邪魔な部品を外したりと一生懸命作りました。

参加してくれた子どもさんは、出来上がった望遠鏡に子ども村特製シールを貼ったり、色画用紙にサインペンで絵を描いたり思い思いの望遠鏡を完成させました。親子でかわるがわる望遠鏡で外を見て「大きく見えるね！」と嬉しそうでした。作った望遠鏡で夏の夜空を見上げる機会が増えてくれたらと思います。

木が逆さに
見えるよ！



亀岡生き物大学 特別講座 「沢登り教室」

8月8日(土) 午前10時～正午 参加者：13名

講師：京都府山岳連盟のみな様 (4名)

朝10時に、東本梅町の半国山ハイキングコースに集合し、音羽川の溪谷を登りました。まず、子どもたちは全員救命胴衣を身に付け、京都府山岳連盟の湯浅さんの先導で登り始めました。大きな岩がゴロゴロしている谷川を、足元に気をつけながら全身を使って登っていきます。

砂防ダムの下のトンネルをくぐり、小さい滝が連なる難所

も足が滑りながらも着実に登り、小さなプールになっているところで一休み、「冷たくて気持ちいい！」と、みんな楽しそうです。最後は、巨大な一枚岩、目の前にそびえる岩の壁を、ロープを付けながら、一人ひとり自分の力で登り切りました。「やったー！」岩の上に立つ子どもたちは、

ちょっとたくましくなったように見えました。



亀岡生き物大学 特別講座 「チリメンモンスターを探せ！」

8月17日(月) 午前10時～正午 参加者：22名

講師：植木 永子 環境学習指導員

チリメンモンスター（略してチリメン）はちりめんじゃこやシラスに混じった他の生き物のことで、タコやエビなどさまざまな海の生き物を観察することができます。

子ども村では大阪湾で取れたちりめんじゃこを使ってチリメン探しをしました。香ばしいにおいが漂う教室で「おっきいのおった！」「このちっちゃいのなんやろう？」と親子で宝探しのような感覚で楽しんでいるようです。

大人でも珍しい生き物を探したり、双眼実体顕微鏡で小さなチリメンの分類をしたりと「結構、夢中でやっしましう」とおっしゃっていました。

今回みんなで見つけたチリメンは全部で18種類、ゴミも1つ見つかりました。紙皿にボンドで張り付けて、オリジナル標本を作りました。チリメンから海の生き物に興味を持ち、環境について考えられるきっかけになってくれたら嬉しいです。

大きく見える！



亀岡市交流会館 「クライミング教室」(8月)



8月19日(水) 夜間①、と8月29日(土) 午後②③の3回、京都府山岳連盟のみな様を講師に、クライミング教室がおこなわれました。基礎的な注意から始まり、子

もから大人まで、壁のカラフルなホールドに手足を掛けて登る体験をしました。クライミング教室は、毎月行う予定です。

亀岡生き物大学 特別講座 「夏の星座を観よう！」

8月21日(金) 午前10時～正午 参加者：25名

講師：植木 永子 環境学習指導員

始めに、講師の植木より星の不思議や、木星・土星の話やそれにつわるクイズが出されました。土星が入るような大きなプールがあったら土星は水に浮くかな？というクイズでは家族で相談して手を挙げたり、「こっちが正解だよ！」とお父さんを引っ張って手を挙げてくれる子もいました。お話の後は外で木星や土星、夏の星座の観察の予定でしたが、南の空が厚い雲におおわれて見えず、かろうじて北の空の晴れ間から、北極星がかすかに光るのを確認できただけでした。

観望会にご協力いただいている亀岡天文同好会「FAO」のお二方がとられた土星の映像を観たり、地球環境子ども村にある星楽館の中に入って望遠鏡を間近に見ていただきました。脚立に上ってレンズを覗いてみて「大きく見えるの？」や「望遠鏡って何円するの？」と質問がありました。星座の観察はできませんでしたが、観察会の雰囲気を楽しんでいただけたかなと思いました。

これかな？
お父さん



新型コロナの流行の中にあっても、子どもたちの目は輝き、興味津々に講座に取り組んでいて、その姿に励まされます。

さて、次の行事や催しは、きらり☆亀岡おしらせや、地球環境子ども村のホームページとフェイスブックをご参照ください。詳しくは、地球環境子ども村へお問い合わせください。新型コロナの予防にマスクの着用、うがい、手洗いを忘れずに！この危機を乗り越えましょう！（文責：植木）

地球環境子ども村

〒621-0242 亀岡市宮前町神前長野15

TEL：0771-26-6100 Fax：0771-26-5002

Email：kodomomura@city.kameoka.lg.jp